令和６年３月25日
Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

北陸地方整備局 道路部

第２回　令和６年能登半島地震
道路復旧技術検討委員会　を開催します

令和６年能登半島地震にて甚大な被害を受けた能越自動車道　輪島（わじま）道路・穴水（あなみず）道路及び直轄権限代行区間等の早期復旧に向けた対策について、専門的な知識を有する学識経験等による検討を行い、復旧方法等について助言いただくことを目的に、第２回　令和６年能登半島地震道路復旧技術検討委員会を開催します。

【開催概要】

■日　時：令和６年３月２７日（水）14時00分～16時00分

■場　所：金沢河川国道事務所
２階 会議室　　金沢市西念（さいねん）4丁目２３番５号

■議　題：１）第１回技術検討委員会の意見と対応
２）「令和６年能登半島地震における当面の復旧に向けた施工方針・留意点」骨子（案）
３）今後の予定

■報道関係のみなさまへ
委員会は非公開とさせていただきますが、委員会冒頭に写真撮影の時間を設けます。また、委員会の開催後、委員長によるブリーフィングを16時30分目途に予定しています。取材を申し込まれる場合は、別紙にて予め登録をお願いします。

＜記者発表先＞
新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、新潟県内専門紙、富山県政記者クラブ、富山県内専門紙、石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省　北陸地方整備局　電話:025-280-8880(代)
道路部　道路工事課　課長　岩崎（いわさき）　義一（よしかず）　（内線4351）

令和６年能登半島地震道路復旧技術検討委員会　構成員

（敬称略）

所属・役職	氏　　名	備　考	
金沢工業大学 金沢工大附置研究所　地域防災環境科学研究所　教授	川村　國夫	防災工学、トンネル、地盤災害、基礎・地盤工学	○
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邊　一弘	道路土工 （斜面、法面等）	
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長	白戸　真大	橋梁全般	
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	西田　秀明	道路基礎、トンネル	
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長	上仙　靖	道路地震防災 （リスクアセス等）	
土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員（特命事項担当）	浅井　健一	土砂崩壊・地質	
土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム　上席研究員	佐々木　哲也	盛土構造 （土質等）	
土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム　上席研究員	日下　敦	トンネル全般	
土木研究所 構造物ﾒﾝﾃﾅﾝｽ研究ｾﾝﾀｰ（CAESAR） 橋梁構造研究グループ　上席研究員	大住　道生	橋梁耐震	

○：委員長

事務局

北陸地方整備局道路部道路工事課
北陸地方整備局道路部道路管理課
北陸地方整備局金沢河川国道事務所
北陸地方整備局能登復興事務所
石川県土木部道路建設課
石川県土木部道路整備課
石川県中能登土木総合事務所
石川県奥能登土木総合事務所

別紙

取材登録書

第２回　令和６年能登半島地震道路復旧技術検討委員会

日時：　令和６年３月２７日（水）　委員会　　１４：００～
ブリーフィング　１６：３０～

場所：　金沢河川国道事務所　２階会議室（金沢市西念(さいねん)4丁目２３番５号）

取材を希望される場合は、事前に本取材登録書を送付願います。

１．取材者

報道機関名	
氏　　名	
連　絡　先	

２．送付先

国土交通省　北陸地方整備局　金沢河川国道事務所　計画課

Mail　mizuno-r22ab@mlit.go.jp
FAX　０７６－２３３－９６３１

３．問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局　金沢河川国道事務所

副所長　　太田　峰誉
計画課長　水野　力斗

TEL　０７６－２６４－８８００（代表）